

研究活動

情報セキュリティの分野に対して、**統計学**、**経済学**等からの多角的なアプローチを実施しています。近年では**情報セキュリティエコノミクス**と呼ばれる、情報セキュリティに関する様々な問題を経済学的観点から解決していこうという試みが世界的になされ始めています。廣松研究室では、**ゲーム理論**や**情報の経済学**といった手法を用いて情報セキュリティ上の問題解決を試みています。

また、統計学の世界で注目されている**ベイズ理論**は、情報セキュリティの分野においても迷惑メールの判定に応用されるなど、様々な可能性を秘めている理論といえます。

廣松研究室では、**従来とは異なる視点から情報セキュリティを研究したい人**をお待ちしています。
(廣松研の学生は、本学に入学して初めて統計学、経済学を学んだ学生がほとんどです)

キーワード： 情報の経済学、ベイズ理論、ゲーム理論、プロスペクト理論・・・

指導教員



教授	廣松 毅 (Hiromatsu Takeshi)		
略歴	平成 元年 1 月	東京大学教授 (先端科学技術研究センター)	
	〃 7 年 4 月	東京大学教授 (教養学部)	
	〃 8 年 4 月	東京大学教授 (大学院総合文化研究科・教養学部)	
	〃 21 年 4 月	情報セキュリティ大学院大学教授	
専門分野	<ul style="list-style-type: none"> ・統計学(主として、政府統計および時系列分析) ・数量経済分析(主として、情報経済論のマクロ・産業分析) 		
研究実績	<ul style="list-style-type: none"> ・IT(情報技術)導入の効率性に関する計量分析 ・非生産部門における情報装備の経済効果に関する定量分析 ・ICT(情報通信技術)産業の構造変化に関する連関分析 ・情報装備の経済効果に関する分析 ・情報サービス産業の経営資源と規模の経済に関する実証分析 等 		
新刊著書	飯富順久・廣松毅・小林稔 編著『現代社会の情報・通信マネジメント』中央経済社 2009年10月		
学会・ 政府関係 機関委員	<ul style="list-style-type: none"> ・厚生労働省社会保障審議会委員 ・内閣府統計委員会委員 ・日本社会情報学会(JASI) 会長 	<ul style="list-style-type: none"> :平成13年 1月 ~ 現在 :平成19年10月 ~ 現在 :平成22年 4月 ~ 現在 等 	
表彰 (2010年度)	研究・技術計画学会 功労賞 (平成22年10月9日) 研究・技術計画学会		
Office Hour	毎週火曜日 15:00 ~ 17:00		

研究室の構成員

M2	磯谷 洋平 (社会人学生)	リスク情報の開示規制が経営者の情報セキュリティ投資行動に及ぼす影響に関する研究
	伊東 俊之 (社会人学生)	情報セキュリティへのリスクコミュニケーション適用についての研究
	大西 真樹 (社会人学生)	情報漏洩事故を防ぐための情報セキュリティ教育と有効性評価に関する研究
	高木 知陽 (社会人学生)	従業員間の「相互依存性」を考慮した効果的なセキュリティ施策の検討
M1	川又 祥正 (社会人学生)	情報資産窃取を行う内部犯行者の行動分析と対策の検討
その他	客員研究員 4名、OB 1名	